

### 成年後見人制度について

大泉 日出男



**問** 利用にあたって当市では、どのような方に市長申し立てが行われたのか。

**答** 認知症等で判断能力が十分でない方に、過去10年間で12名の方へ行われた。

**問** 市民後見人の育成及び実務上の課題は何かあるのか。

**答** 育成手法や運用面の充実、支える側のモチベーションの課題がある。

**問** 制度の中核となる機関を近隣自治体と共同で設置する手法はどう考えるか。

**答** 他市町村の事例を参考に検討していく。

#### ◆対話型DXの推進について

**問** 市民の声（投書箱）の運用、周知、課題は何か。

**答** 政策室で取りまとめをし、HPでの周知を徹底。匿名で内容が不明瞭の際に回答ができない場合がある。

**問** 福井県小浜市での全国初の試み「対話型DX推進」を視察した。所見を伺う。

**答** 市民との取り組みを踏まえ近隣市との情報収集に努めていく。

### 子どもの未来応援 「校内朝の子ども食堂」

五十嵐 恵千子



**問** ある市民から「朝の子ども食堂」などを実施してはとのご相談をいただいた。当市でも福祉と教育が連携し、子ども達が抱える様々な課題に気づく予防的取り組みとして、また、食育の観点からも重要な取り組みと考える。①当市で朝ごはんを食べずに登校する児童生徒の割合は。②何らかの工夫でモデル的に実施してはいかがか。

**答** ①令和4年度全国学力学習状況調査の結果では「朝食を全く食べない」児童生徒の平均割合は、小6で1.3%、中3では3.3%。平成29年度の子どもの貧困実態調査では「食べない方が多い・いつも食べない」割合が、全体で小5は4%、中2は8.3%。うちひとり親家庭の小5は7.8%、中2は8.6%。低所得層の小5は8.0%、中2は8.4%と、ひとり親世帯や低所得層でその割合が高く出ている。②他自治体の事例を参考に、協議を重ね、実施する効果や課題を研究する。

#### ◆肥料価格高騰対策の推進を

**問** 価格上昇分の7割を補填する支援の実施は。

**答** 秋ごえは10月頃、春ごえは来年5月頃からJAさわかづが申請窓口で体制を整えている。

### 安全安心のまちづくり

松崎 誠



**問** 埼玉型ほ場整備は、地域農業の活性化や農業経営の安定化を図ることを目的に、土地の所有権の移転を伴う換地を行わず、10aを基準区画として、埼玉県が実施する簡易的ほ場整備事業です。平成28年度に吉屋地区のほ場整備事業を終えて、市内で次に予定されている地区は。

**答** 次に予定されている地区につきましては、いくつか検討いただいておりますが、昨今のコロナ禍もあり、地域での打ち合わせ等ができず、準備会や協議会の設立に至らない状況であり、現在、具体的に予定している地区はありません。

**問** 江戸川堤防「なごみ提」沿いの県道三郷・松伏線は、夕方以降、道路照明も少ないことから暗く、地元の方が、県道から生活道路に侵入する際に、通り過ぎてから気づくこともあります。県道沿いに、右折・左折時の目印になる案内看板等の設置が、可能か伺います。

**答** 当該交差点付近には、築堤工事が始まる前に看板等があり、目印としての役割を果たしていたものと考えます。築堤工事完了後には、元の場所に看板等が戻されますので、以前と同様に左折・右折の目印の確認ができるようになります。

### クビアカツヤカミキリの 桜の木への被害について

成本 直寛



**問** 市内において特定外来生物クビアカツヤカミキリが発生しており、桜の木への被害が報告されている。クビアカツヤカミキリは、カミキリ目シロの甲虫で特定外来生物である。成虫の体長は、約2.5～4センチメートルで全体的に光沢のある黒色で胸部（首の部分）が赤色である。繁殖力が非常に高く、幼虫が木に食入・加害することで、樹木が衰弱し、加害が進むと桜の木が枯死し、落枝・倒木等による人的被害が発生するおそれがある。市内の被害発生状況、対応、対策を問う。

**答** 市内において成虫およびフラス（幼虫の排泄物）が確認されている。桜の木への被害については、さくら通りで49本、道庭緑地で28本、市内公園（保、高久、高富、中川台）において29本が確認されている。対応として、薬剤注入、成虫飛散ネットの設置を行っている。枯れて倒木の危険がある樹木については伐採を進めていく。対策については、市ホームページ、パンフレット配布等で情報提供・周知に努めていく。

市内の桜並木は名所であり、桜の景観を守っていく。